

【大学院特別講義】

新潟大学皮膚科特別セミナー

日時：2020年1月29日（水）18：00～

会場：医学部北研究棟5階 皮膚科学教室

天疱瘡治療の将来を考える

慶應義塾大学医学部 皮膚科
講師 山上 淳 先生

天疱瘡はデスモグレインに対する自己抗体によって生じる自己免疫性水疱症であり、その治療は長い間ステロイド内服を中心に組み立てられてきた。しかし最近、抗CD20抗体療法がB細胞を標的として抗体産生を抑制し、天疱瘡に対して高い有効性を示すことが私どもを含めた国内外の臨床研究および医師主導治験で確認されている。今後、治療戦略が大きく変化すると予測される天疱瘡の将来について、私たちの研究も含めて展望する。